

椿の花咲く頃(2019.9~) ★4.6 全 20 話、各回 60 分程度



ヨム・ヘラン／オ・ジョンセ／カン・ハヌル キム・ガンフン／コン・ヒョジン キム・ジソク／チ・イス／ソン・ダムピ

韓国内で、愛の不時着・梨泰院クラスを抑えて堂々のドラマ賞を独占した人気番組。これが母系社会韓国を反映した人情ドラマである。主人公は地方都市に居酒屋を開いたトンペク。シングルマザーで7歳の息子（うますぎる子役）を一人で育てている。ここにトンペクを捨てた母親が認知症のふりをしてやってくる。ここで「母」が二人登場している。このトンペクに恋をする若き地元の警官のヨンシク。純情おバカのかれは直球勝負でトンペクに接近していく。このヨンシクの母親が地元のまとめ役で初めはトンペクに世話をやいていたおばさん。これで「母」が三人。トンペクのかっての同棲相手はプロ野球のスターで、SNSで名前を売っている妻があるのに自分に男の子がいたと知ってまたトンペクに言い寄っていく。この両方に母親がいる。トンペクの店にやってきてパワハラ・セクハラをしまくっている地元の野心家（サイコで発達障害の兄を演じたオ・ジョンセ）とその妻のエリート弁護士（サンガプでは閻魔大王役）。その両方に母がいる。トンペクとヨンシクの恋の障害は、トンペクの息子が母を独占したいからだし、ヨンシクの母が息子のヨンシクが子持ちのシングルマザー・トンペクと結婚して幸せになれないと思込んでいるからで、いずれも母性の衝突が葛藤状況を生み出している。この人情ドラマに、サイコな殺人鬼がトンペクを狙っている。その事件をヨンシクが追及するといういささか複雑な構造になっていて毎回のサスペンスの盛り上げはなかなかうまい。愛不時で北朝鮮の井戸端会議を仕切っていたおばさんがやはり同じような役ででているのもご愛嬌である。(7.28~8.7)